

講座番号 C01	講座名：
	使用済み材料を利用した「小物作り教室」
講師名：NPO 法人 仙台・みやぎ消費者支援ネット	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人
		○	○		○



実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	10人～20人
所要時間	120分程度
受講者が準備するもの	お家で眠っている古布、古紙、裁縫道具

参考教科 ※1	小4 社会
参考 SDGs※2	 

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	古布・古紙を使用した小物作りを通して、リサイクルを意識する
講座内容	<p>古布・古紙を利用して楽しく小物づくりを行います。</p> <p style="text-align: center;"><講座の様子></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;"><牛乳パック・空き箱・ティッシュペーパー等での作品></p> <div style="text-align: center;">  </div>
講師よりコメント	古布、古紙等を利用した小物作りによるリサイクルの意識向上を図るものです。
備考	受講対象者にあわせて調整させていただきますので、お気軽にご相談下さい。

講座番号 C02	講座名：
	ごみの減量・リサイクルの推進
講師名：仙台市家庭ごみ減量課、環境事業所	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人
		○	○	○	○

実施会場	<ul style="list-style-type: none"> ・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	--

対応人数	応相談
所要時間	40分程度
受講者が準備するもの	

参考教科 ※1	小4 社会 小6 社会
参考 SDGs ※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	暮らしに身近な「ごみ」をテーマに、地域の環境美化や地球の環境問題を考える
講座内容	<p> 暮らしに身近な「ごみ」をテーマに、地域の環境美化や地球の環境問題を考えるきっかけとなる体験型講座の講師を派遣します。講座を通して身の回りの整理整頓への関心や、杜の都・仙台の環境を大切にする気持ちを育みます。</p> <p>【講座の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ごみがどのように処理・リサイクルされているのか、なぜごみ分別が必要なのかを、実際の体験を通じて理解していただく内容です。 ○「わたしたちのまち仙台(副読本)」を利用した授業にも対応いたします。 ○受講生全員に記念品(環境に優しい文房具等)をプレゼントします。 <p></p> <p>【基本コース(1コマ)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①環境局作成 DVD を視聴し、環境問題を知り、ごみ分別の重要性を理解する。(20分) ②ごみと資源物のクイズや体験などでリサイクルの知識を深める。(20分) ③学んだ内容のふりかえりを行い、今後の実践につなげる。(5分) <p>  </p>
講師よりコメント	<p>＼こんな受講後の感想をいただいております！／</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ごみの分別を考えるきっかけとなり、給食の後片付けをきちんと行うようになった。 ○ご家庭でのごみ分別を率先して行い、家族でもリサイクルに取り組むようになった。 ○地域の美化活動をされている方に挨拶をするようになった。
備考	※プロジェクターやスクリーン等が無い場合はご相談ください。

講座番号 C03	講座名： “ゴミ”本当に『ゴミ』なの…？
	講師名：仙台リバーズネット・梅田川

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
		△	○	○	




実施会場	<ul style="list-style-type: none"> ・たまきさんサロン ・受講団体が準備（教室、講義室など）
------	---

対応人数	10人～30人程度（要相談）
所要時間	60分～90分程度
受講者が準備するもの	プロジェクター、スクリーンなど（応相談）

参考教科 ※1	小4 社会
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール



講座概要	川にあるごみは本当にごみなのか、ごみと資源についてお宝さがしゲームで学ぶ
講座内容	<p>○お宝さがしゲーム（ポイ捨て防止・資源化を考える他）</p> <p>「ポイ捨てをしない、させない」捨てられたゴミにより海洋動物が被害を受けています。ゴミが本当にゴミなのか？をゲームをしながら楽しく学習します。ゴミと思ったものが、本当はお宝（資源）であること、そしてポイ捨て防止とリサイクル活動の大切さをみんなと一緒に考えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>学校での講座風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>たまきさんサロンでのお宝さがしゲームとワークシートの作成</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>
講師よりコメント	知識を得ることは勿論ですが、その知識によって何らかの行動を自ら起すかどうか環境教育では大切なこと。人間は聞いたことは忘れる！見た事は思い出す！体験したことは理解する！人間は理解無では行動に移らない。だから体験（バーチャルも含め）を重視した講座を心がけています。
備考	受講対象者にあわせて調整させていただきますので、お気軽にご相談ください。

講座番号 C04	講座名：
	製品に使われる資源とそのリサイクル
講師名：東北大学大学院 環境科学研究科 白鳥 寿一・齋藤 優子	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人
			○	○	○

実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	15人程度
所要時間	90分～120分
受講者が準備するもの	

参考教科 ※1	小4～小5 社会
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	身近な電気電子製品を分解して資源について学び、資源のリサイクルについて考える
講座内容	<p>ー小型の電気製品を分解して中の資源を勉強しようー</p> <p>私たちが使用している製品には様々な資源が使われています。それらの資源(金属類やプラスチック原料など)は、ほとんど海外からの輸入に頼っています。そのため、安定した製品づくりのためにも、地球環境のためにも、それらを有効に使うこと、またリサイクルは皆で進めることが必要です。</p> <p>この講座では、身近にある小型の電気製品(携帯電話、スマートフォン、デジカメ、ゲーム機、工具など(※))を実際に分解します。それらを分解できない部材(電子基板や充電電池など)や資源ごとに分別し、それらのことについて学びます。また、自身が生活する中でそれらを実際にリサイクルするにはどうすればいいかを考えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
講師よりコメント	※ 分解する電気製品の対象は、参加の方々の年代も考慮したうえで、開講時の試料入手状況で変わります。
備考	

講座番号 C05	講座名：
	リサイクルってなんで大事？
講師名：東北大学大学院 環境科学研究科 松八重 一代	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人
			○	○	○

実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	15人程度
所要時間	90分程度
受講者が準備するもの	プロジェクター、スクリーン

参考教科 ※1	小4 社会 小6 社会
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	リサイクルがなぜ重要か、環境負荷の観点から学ぶ
講座内容	<p>皆さんが使っている製品には様々な素材が使われています。プラスチックは石油資源から、鉄や銅などの金属は鉱物資源から作られています。地中からこれらの資源を採掘する時にはたくさんの土を掘ると同時に大量のエネルギーを消費します。皆さんの持っている製品は、手元にやってくるまでにどのくらいの環境負荷を背負っているのでしょうか。関与物質総量 (Total Materials Requirement : TMR) という考え方を使って、その重さを体感し、リサイクルの重要性について考えてみましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>講座の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ニューカレドニアのニッケル鉱山</p> </div> </div>
講師よりコメント	
備考	